

## 南丹市有線テレビ放送番組審議会会議録

日 時	平成22年8月31日（火） 午前10時00分～11時55分
場 所	南丹市国際交流会館 3階 第1会議室
出席者	<p>●委員12名（全員出席）          芦田哲夫会長、野々口きぬる副会長、村田正夫委員、高屋剛委員、          滝口来吉委員、小林敏雄委員、草木太久實委員、樋口透委員、塚本宏委員、          仲村脩委員、森榮一委員、井上修男委員</p> <p>●事務局 情報推進課塩貝課長、矢田係長          園部国際学園都市センター角常務理事、今井事務局長、鳥居課長、          広戸係長、平岡、今西</p>

### 1. 開 会（事務局）

ただいまから南丹市有線テレビ放送番組審議会を開催させていただきます。開催にあたり芦田会長様からごあいさついただきます。

### 2. 会長あいさつ

今日は、前回の審議会で話し合った番組の改編について具体的に審議いただく。今回から委員になられた方もおられるが、当審議会では、市民に見えていただける番組づくりや放送の内容について審議します。八木町内の南丹市CATVへの加入が低いようで心配している。よりよい自主放送番組となるようにしていきたいので、忌憚のない意見を出していただきますようお願いします。

### 3. 新委員紹介（事務局）

名簿を次第裏面につけています。地域の役員改選などにより、園部町区長会会長の高屋剛様、八木町区長会連絡協議会委員の滝口来吉様、日吉町地域自治振興会会長小林敏雄様、南丹市教育委員会教育長の森榮一様、南丹市企画管理部長の井上修男様にお世話になります。次に事務局の紹介をさせていただきます（園部国際学園都市センター、情報推進課職員を紹介）。ここからの進行は芦田会長をお願いします。

## 4. 議 題

### （1）自主放送番組の改編について

（会 長）議題1の自主放送番組の改編について、事務局から説明を受けます。

（事務局）資料1及び資料2により現在の番組や放送時間について説明。資料3により新編成（案）を説明。放送する番組は同じですが、これまでの放送は1日中同じ番組を再放送していたが、新編成では時間帯により1日に3番組が見えていただけるように再放送する。心配な面は、再放送が3・4日から1週間になるが時間帯が限定されるので視聴者が戸惑われるのではないかとということ。

（会 長）何でも結構ですのでご意見をお出してください。

(委員) 9月から変わるのか。

(事務局) 10月から新編成で放送したいと考えている。まずは、視聴者に放送時間が変わる広報をしないといけない。

(会長) 広報は資料3のようにカラーで説明する方が分かりやすい。

(委員) J Aトピックスの放送時間が農家にとって見にくい時間だと思う。

(会長) 色んな時間に放送しているので、私は見られると思う。再放送の期間も長いので大丈夫でないか。

(委員) 少ないスタッフで番組を制作しているのだから、民放などと同じような番組を作るのは難しい。地域性のある特集番組を作り、地域やスタッフのモチベーションが上がるよう努めてほしい。文字放送が多いように思うので、もったいないと思う。季節によりスクールフェイスばかりというイメージがある。加入率が低い地域の方に、魅力がある番組でCATVに加入してもらえるようになれば。少ないスタッフで取り組んでいるので、市がバックアップする体制を望む。高齢者にJ Aの営農情報がテレビで見られるように充実してほしい。

(委員) これまであまり自主放送番組を見ていないが、文字放送が多いと感じる。スクールフェイスに2時間の枠を取っているが、長すぎないか。

(事務局) 学校数が多いので、1枠に2・3校分を放送するため1時間半ぐらいになる。文字放送は、各番組枠の放送終了後から次の番組まで流すため、多いと感じられるのでは（これまでは各番組枠を2時間にしていたが、新編成では1時間枠に変えているので番組放送時間が増え、文字放送の時間は減る。1日当たり7番組⇒10番組）。自主放送番組を見てもらう場合は、何時から週刊ニュースもぎたてテレビを放送しているからチャンネルを合わす。という見方をしてもらわないと文字放送の画面ということがよくある。番組表には何時と何時と何時から放送と記載している。ニュース番組は30分程度の番組と考えているが、最近取材が増えているので35分番組になると、残りの25分間文字放送を流すことになる。再放送が多いという課題は、全体の番組数を増やさないと解決できない。今回の新編成は、1日に色んな放送を見ていただけるようにと考えたもので、週刊ニュースを1週間再放送するといつまで古いニュースを流しているのと、思われる方があるかも知れないが前回の審議会で意見があった、見ていただける機会を増やすための編成です。

(委員) 週刊ニュースが30分間なら、8時からと8時30分から続けて放送すればどうか。30分を越えていても2回目は途中まで放送するなど、文字放送ではなく番組を放送することで市民に興味をもってもらうきっかけになるのでは。

(委員) スクールフェイスの放送が午後11時までになっているが、学校では午後10時までには就寝するように指導している。スクールフェイスについては、ずっと映像が流れている。どんな意図をもって活動しているのかをテロップなどで紹介していただく。また、解説を入れることで見やすくないか。新番組として文化性や教養性のある番組を制作できないかと考える。NHK教育では、全国一律で文化・教養を取り上げている。趣味の園芸なら北海道から沖縄まで対象にしているので、南丹市を対象にした番組を作るために地域のサークルに協力してもらい南丹市に合った番組ができればと思います。

(委員) 京都新聞で鶴ヶ岡を取り上げてもらったが、地域の方々に好評だった。週刊ニュースや特集番組では、できるだけ地域的话题を取り上げてほしい。放送回数については、スクールフェイスより週刊ニュースや特集番組の回数を増やす方がいいと思う。

(委員) あまり自主放送番組を見ていないが、市議会議員選挙の番組はリアルタイムで放送されていてよかった。KBS京都やNHK京都の地域密着型の番組と連携して、南丹市であった出来事を流してもらえると南丹市内外の方が見られてよいのではないかと。また、市民参加型の番組も取り組んでは。

(事務局) KBS京都で南丹市情報センターが撮影した映像を流し、向こうのアナウンサーと対話しながら放送する番組があったが終わってしまった。NHK京都では、向こうのスタジオに行って映像を流し説明するコーナーが数ヵ月に1回ある。お互いの映像を流すメリットがあれば取り組みたい。

(委員) 新聞社では、それぞれ技術や理念が違うので難しい。特集番組に取り組まれる時は、単に撮影に行くだけでなく意図をもつことが大変重要です。行事を流すだけではいけない。時間が掛かるものである。

(委員) CSの番組表は出るが自主放送番組はでないのか。川辺小学校のコンクールを取り上げた番組がよかったと聞いたが、いつ放送しているか分からなかった。

(委員) 番組制作の意図については、南丹市がどういうまちづくりをするのかという方向性を市が示さなければならない。それが番組作りにつながると思う。情報センターにしか作れない番組ということになる。

(会長) 皆さんに見てもらえる番組を制作することが大切だと思う。放送の編成を変える場合、ちょっとずつ変えるということではできないので、色々なご意見を出していただき参考にしたいと思います。次回の審議会は3月に開催すると思うので、そのときに編成がよくなったという声が出るとうれしいと思います。

(委員) 市民に自主放送番組を通して南丹市であったことを知ってもらえるというのは、いいことだと思います。子どもや営農の番組など色々な番組がありますが、市の行事については、情報推進課が情報センターと連携しています。

(委員) 南丹市が何を目的として進もうとしているか、意図をもって伝えるという話が出ているが、女性ネットワーク会議でも南丹市のまちおこしをするために少しでも多くの人に入ってもらいたいと考えている。月1回会議をしているが、会議に参加したものだけが理解するのではなく、広くPRし他の人にも分かるようにする必要があると感じている。市役所各課でよいことに取り組まれているが、各課の連携が悪く残念だ。市民の代表である議員も市民の声を集約し、南丹市をよくするために取り組まれているので、みんなが一丸となって1つの目標に向かっていけば、合併した南丹市が軌道に乗っていけると思う。高齢化する集落の問題については、実態を理解してほしい。自主放送番組で取り上げることで市民に知ってもらえるのではないかと。

(委員) 高齢化の問題を自主放送番組で取り上げるためには、大変だと取り上げるのか、頑張っていると取り上げるのかがはっきりしないと取材が難しい。南丹市の方針が分かっているとスタッフは判断できない。

(委員) 初めて見る番組が、文字放送やスクールフェイスではチャンネルを変えられて

しまう。地域で頑張っている祭りや運動会などの行事を紹介してほしい。

(委員) 市内には地域を大切にする人が多くおられ、文化も地域から生まれたものである。次世代に引き継ごうと、文化を守っている人たちを取り上げてほしい。

(委員) 知ってもらい、見てもらうための地域の公共放送として努力しています。以前の審議会でも市議会の生中継について検討してもらおうように頼んだが、どのようになっているか。現在、8割に近い市で生中継している。

(委員) 広報特別委員会で検討しているが、課題としては一般質問なら3日間、午前10時から夕方までずっと放送することができるのか、見てもらえるかなどの意見が出ていた。個人的には、ネット配信を使ってでも生中継が必要だと思っている。

(委員) 技術的には放送できるので、市議会で具体的に検討してほしい。

(委員) 南丹市の方を決めるのが市議会なので、記者は朝からずっと張り付き一言一句聞き逃さないようにしている。見る・見ないではなく、自分が選んだ議員の活動について市民は関心を持っている。新聞記事はライブではないので、手段があるなら生中継は行うべきだと思う。

(委員) 時代の流れは、ライブ配信する方向だ。

(委員) 市議会全体で話していないので、検討したい。

(委員) 市民の関心は高いし、市議会中継を見たいと思っている。次の選挙にも影響すると思う。

(会長) 皆さん関心があると思います。他にご意見がなければ、その他の項目で地上デジタル放送対応状況に関するアンケート結果について事務局が説明します。

(事務局) アンケート結果(単純集計)を説明。問3で平成23年7月24日までに地上アナログテレビ放送が終了することを、99%の方が知っている。問5で地上デジタル放送を見ている方が63%。地上デジタル放送を見ていない方の理由は問7で質問しているが、地上デジタル放送を見るために何をしたらよいのかわからない・対応する余裕がないという方が約30%おられる。今後も地デジ対応について広報を進めたい。

(委員) 地域説明会では、南丹市CATVに加入していればテレビを買い換えれば地デジが見られると説明を受けたが、実際は家の中でも見られない場所があった。家に5台テレビがあるが、配線の関係で電波信号が弱い部屋があった。アナログは見られたがデジタルは見られなかったため、屋内配線を換えた。地上アナログテレビ放送が見られなくなるまで時間的余裕があると思っている人も、テレビを買い換えしたが、すぐには見られないという状況も考えられるので、早いうちに電波信号レベルを測ることなどが必要ではないか。

(事務局) 各家庭に電波信号レベルを測りに行くことはできないので、そのような内容も加えて広報したい。早めに電気店に相談してくださいなどと注意を呼び掛ける。

(会長) 多くのご意見を出していただきありがとうございました。

## 5. 閉会あいさつ(野々口副会長)

今回は特に多くの意見を出していただきありがとうございました。市民にとってたになる、喜んでもらえる。そして課題は沢山ありますが、市民が一つになるような元気な番組を制作していただきたいと思います。